



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月11日

上場会社名 三菱製鋼株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5632 URL <https://www.mitsubishisteel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 佐藤基行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 柳沼康一 (TEL) 03(3536)3135
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮し、開催中止)
 (百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	42,219	△29.8	△2,393	—	△2,475	—	△2,398	—
2020年3月期第2四半期	60,169	△4.7	74	△91.0	△404	—	△14,310	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △2,175百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △16,982百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△155.91	—
2020年3月期第2四半期	△930.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	128,785	46,130	31.3
2020年3月期	141,391	48,315	30.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 40,354百万円 2020年3月期 42,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	92,000	△21.5	△6,600	—	△6,900	—	△6,200	—	△403.00	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細につきましては、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	15,709,968株	2020年3月期	15,709,968株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	325,416株	2020年3月期	325,411株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	15,384,555株	2020年3月期2Q	15,384,575株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、本予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報(連結)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月～2020年9月)における当社グループを取りまく経営環境は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大幅に悪化しました。自動車業界では、メーカー各社の生産一時停止や需要の急減があり世界各国で新車販売が大幅減となりました。足元では、中国・北米で需要の回復が見られ、国内需要も回復の兆しは見えているものの、東南アジアや欧州では回復が遅れており、依然として先行き不透明な状況が続いています。また、建設機械及び産業機械・工作機械業界においても、米中貿易摩擦による昨年度からの国内メーカーの需要低迷に加え、新型コロナウイルスによる経済活動縮小の影響も大きく、需要は大幅に減少しました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比179億4千9百万円(29.8%)減収の422億1千9百万円となりました。営業利益は、売上減の影響に加え、特殊鋼鋼材事業における高炉改修に伴う備蓄在庫取り崩しによる一過性費用増加の影響が大きく、固定費削減の取り組み効果や前第2四半期連結会計期間での海外子会社の減損計上による償却負担減少があったものの、前年同期比24億6千8百万円減益の23億9千3百万円の損失(前年同期は営業利益7千4百万円)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純損失は、23億9千8百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失143億1千万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

特殊鋼鋼材事業につきましては、昨年度からの建設機械及び産業機械・工作機械メーカーの需要低迷に加え、新型コロナウイルスの影響で需要がさらに減少したことにより、売上高は、前年同期比102億2千2百万円(34.5%)減収の194億3千8百万円となりました。営業利益は、国内事業では販売数量減と高炉改修に伴う備蓄在庫取り崩しによる一過性費用増加の影響が大きく、7月からの高炉休止に向けた備蓄効果によるコスト改善があったものの損失となりました。一方、インドネシア海外事業では、当第2四半期にあたる4～6月より新型コロナウイルスの影響を受けたものの、製造コスト及び固定費削減に向けた取り組みの効果や、前期の減損計上による償却負担の減少もあり、損失幅は大幅に縮小しました。特殊鋼鋼材事業全体としては、前年同期比16億1千1百万円減益の7億5千2百万円の損失(前年同期は営業利益8億5千9百万円)となりました。

ばね事業につきましては、新型コロナウイルスの影響により、第1四半期において主要顧客の工場稼働停止や大幅な生産減となったことによる北米・国内の売上減の影響が大きく、第2四半期では北米や中国の自動車メーカー向け販売は先行して回復しているものの、売上高は、前年同期比76億9千8百万円(32.9%)減収の156億9千4百万円となりました。営業利益は、北米子会社の新製品立ち上げ時のトラブル解消や、前期に行った海外子会社の減損計上による償却負担の減少及び経費削減施策の効果があったものの、回復が遅れている国内の売上減の影響が大きく、前年同期比7億1千万円損失が拡大し、17億6百万円の損失(前年同期は営業損失9億9千6百万円)となりました。

なお、北米拠点につきましては、受注量に見合った生産体制に再編するため、巻ばねに続いてスタビライザの生産もアメリカ工場からカナダ・メキシコ工場への移管を進めています。

素形材事業につきましては、新型コロナウイルスの影響による国内外の自動車部品・電子部品メーカーの減産継続に伴う精密鋳造品や特殊合金粉末等の売上減に加え、事業撤退に伴う磁気製品の売上減もあり、売上高は、前年同期比8億5千2百万円(18.1%)減収の38億5千8百万円となりました。営業利益は、売上減の影響が大きく、前年同期比1億6千1百万円損失が拡大し、1億8千7百万円の損失(前年同期は営業損失2千5百万円)となりました。

機器装置事業につきましては、受注から売上げを計上するまでの期間が比較的長いことから、当第2四半期連結累計期間における新型コロナウイルスの影響は限定的に留まり、売上高は、前年同期比1億5千7百万円(3.4%)減収の44億4千1百万円となりました。営業利益は、売上減の影響があったものの、採算改善への取り組みや各種コスト削減の積上げにより、前年同期比8千1百万円(57.4%)増益の2億2千3百万円となりました。

その他の事業につきましては、流通及びサービス業等ではありますが、売上高は、前年同期比6億8千6百万円(34.9%)減収の12億8千万円、営業利益は、前年同期比4千9百万円(64.3%)減益の2千7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ126億6百万円減少し、1,287億8千5百万円となりました。これは主に借入金返済による現金及び預金の減少、売上減少に伴う売掛金の減少、高炉改修により備蓄していた在庫の消化に伴うたな卸資産の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ104億2千万円減少し、826億5千5百万円となりました。これは借入金返済や仕入債務等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ21億8千5百万円減少し、461億3千万円となりました。これは主に利益剰余金等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、営業活動では29億5千8百万円の収入、投資活動では24億9千3百万円の支出、財務活動では27億7千1百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物は当第2四半期連結累計期間に25億2千2百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は267億5千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の当社グループの事業環境は、コロナ禍により、足許では経済活動の再開による持ち直しの動きが見られるものの、需要減少により厳しい状況が継続しております。これに加え、特殊鋼鋼材事業における高炉改修による一過性費用増の影響を見込んでおります。

当第2四半期（2020年4月1日～2020年9月30日）においては、コロナ禍による世界経済の減速に伴い、当社を取りまく事業環境は大幅に悪化しましたが、主要な取引先である自動車業界、建設機械業界ともに、足許は回復が進んでおり、下期も回復が継続すると見込んでおります。

このような環境下、当社グループの下期の売上高は需要回復から今上期を上回ることが見込まれるものの、営業利益については高炉改修に伴う一過性費用の負担が下期に大きくなるため、下期の損失は拡大する見通しです。

当社グループは、2020年5月に2020中期経営計画（2020年度～2022年度）を公表し、「素材から製品まで一貫したモノづくりでお客様に付加価値を提供する」をスローガンに掲げ各施策に着手しております。喫緊の課題である「海外事業の構造改革」についてはコロナ禍による売上減があったものの、北米ばね子会社においては計画通り再編を進めており、インドネシア特殊鋼鋼材子会社においてもコロナの影響が出る前には営業黒字化するなど、概ね再建計画通り進捗しています。

また、今期発生する高炉改修の一過性費用は2021年4月以降には発生せず、改修効果を享受することとなり、業績の改善を見込んでいます。

しかしながら、当社グループを取り巻く経営環境は、感染症の拡大及びこれに起因した事業環境の悪化により今後とも先行き不透明な状況にあり、希望退職を含めた一段の全社的なコスト構造改革及び財務体質強化などの取り組みを行ってまいります。これにより、厳しい事業環境が継続した場合においても、2022年3月期の最終利益の確保を目指してまいります。

2021年3月期の業績予想は、上記のとおり経常損失ならびに親会社株主に帰属する当期純損失の見通しとなることから、誠に遺憾ではございますが当期の中間配当を無配とし、また、期末配当を無配の予想とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

(注)上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,303	16,268
受取手形及び売掛金	24,847	18,462
電子記録債権	3,484	3,488
有価証券	9,000	10,500
商品及び製品	15,796	13,929
仕掛品	6,273	4,690
原材料及び貯蔵品	7,152	6,921
その他	2,265	1,767
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	89,121	76,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,174	8,582
機械装置及び運搬具（純額）	8,683	9,168
土地	14,021	13,746
その他（純額）	8,171	7,409
有形固定資産合計	39,051	38,906
無形固定資産		
その他	1,414	1,526
無形固定資産合計	1,414	1,526
投資その他の資産		
投資有価証券	9,400	10,021
退職給付に係る資産	752	834
その他	1,650	1,467
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	11,803	12,323
固定資産合計	52,270	52,757
資産合計	141,391	128,785

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,125	6,753
電子記録債務	4,458	2,004
短期借入金	24,358	26,265
未払法人税等	257	181
その他	6,565	5,529
流動負債合計	46,765	40,733
固定負債		
長期借入金	30,776	26,174
役員退職慰労引当金	105	115
役員株式給付引当金	11	14
退職給付に係る負債	9,235	9,557
事業整理損失引当金	—	134
その他	6,181	5,924
固定負債合計	46,310	41,921
負債合計	93,075	82,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,003	10,003
資本剰余金	2,583	2,583
利益剰余金	34,197	31,798
自己株式	△1,271	△1,271
株主資本合計	45,512	43,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,024	2,459
為替換算調整勘定	△3,112	△3,304
退職給付に係る調整累計額	△1,817	△1,914
その他の包括利益累計額合計	△2,905	△2,760
非支配株主持分	5,708	5,775
純資産合計	48,315	46,130
負債純資産合計	141,391	128,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	60,169	42,219
売上原価	52,649	38,684
売上総利益	7,519	3,534
販売費及び一般管理費	7,445	5,928
営業利益又は営業損失(△)	74	△2,393
営業外収益		
受取利息	22	7
受取配当金	125	102
雇用調整助成金	—	603
その他	101	95
営業外収益合計	248	809
営業外費用		
支払利息	552	611
持分法による投資損失	3	15
為替差損	98	200
その他	73	62
営業外費用合計	728	890
経常損失(△)	△404	△2,475
特別利益		
固定資産処分益	6	—
受取保険金	—	304
特別利益合計	6	304
特別損失		
減損損失	14,851	—
固定資産処分損	297	—
投資有価証券評価損	136	—
災害による損失	98	—
事業撤退損	40	—
事業整理損失引当金繰入額	—	134
特別損失合計	15,424	134
税金等調整前四半期純損失(△)	△15,822	△2,305
法人税、住民税及び事業税	190	104
法人税等調整額	992	△149
法人税等合計	1,182	△45
四半期純損失(△)	△17,005	△2,259
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,695	138
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,310	△2,398

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△17,005	△2,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207	433
為替換算調整勘定	△263	△260
退職給付に係る調整額	85	△88
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△0
その他の包括利益合計	22	84
四半期包括利益	△16,982	△2,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,304	△2,253
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,678	78

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△15,822	△2,305
減価償却費	2,205	1,530
減損損失	14,851	—
のれん償却額	170	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	81	158
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△52	△74
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	134
受取利息及び受取配当金	△147	△109
支払利息	552	611
雇用調整助成金	—	△603
受取保険金	—	△304
為替差損益 (△は益)	△16	△89
持分法による投資損益 (△は益)	3	15
固定資産処分損益 (△は益)	297	3
投資有価証券評価損益 (△は益)	136	—
売上債権の増減額 (△は増加)	7,580	6,357
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,614	3,497
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,294	△6,798
その他	1,665	1,196
小計	1,597	3,219
利息及び配当金の受取額	147	109
利息の支払額	△522	△683
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,695	△157
雇用調整助成金の受取額	—	488
災害損失の支払額	—	△18
営業活動によるキャッシュ・フロー	△472	2,958
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13	△12
定期預金の払戻による収入	24	24
投資有価証券の取得による支出	△6	△4
有形固定資産の取得による支出	△4,594	△2,164
有形固定資産の売却による収入	94	2
無形固定資産の取得による支出	△372	△341
貸付けによる支出	△7	△21
貸付金の回収による収入	8	16
その他	62	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,806	△2,493

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,970	975
長期借入れによる収入	1,270	—
長期借入金の返済による支出	△2,529	△3,427
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	0	—
非支配株主への配当金の支払額	△10	△10
リース債務の返済による支出	△204	△309
配当金の支払額	△539	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	956	△2,771
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66	△215
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,388	△2,522
現金及び現金同等物の期首残高	26,091	29,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,703	26,758

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(会計方針の変更)

(米国会計基準ASU第2016-02「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、一部の在外連結子会社において米国会計基準ASU第2016-02「リース」(以下、「本基準」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は原則すべてのリースについて資産及び負債を認識することといたしました。本基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末日における、四半期連結貸借対照表上、有形固定資産のその他(純額)が125百万円、流動負債のその他が31百万円、固定負債のその他が94百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業損失に与える影響額は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置				
売上高								
外部顧客への売上高	26,569	23,383	4,620	4,473	1,122	60,169	—	60,169
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,091	10	90	125	845	4,163	△4,163	—
計	29,661	23,393	4,711	4,598	1,967	64,332	△4,163	60,169
セグメント利益又は 損失(△)	859	△996	△25	141	77	56	18	74

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

特殊鋼鋼材事業、ばね事業及び素形材事業において、事業環境の悪化を受け将来事業計画を見直した結果、当初想定していた収益性が見込めなくなったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。当該減損損失の計上額は、特殊鋼鋼材事業8,987百万円、ばね事業5,469百万円、素形材事業394百万円であります。

また、素形材事業に属する鑄造磁石事業の撤退に伴う減損損失14百万円を特別損失として計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置				
売上高								
外部顧客への売上高	17,828	15,661	3,820	4,191	717	42,219	—	42,219
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,610	33	38	249	563	2,495	△2,495	—
計	19,438	15,694	3,858	4,441	1,280	44,714	△2,495	42,219
セグメント利益又は 損失(△)	△752	△1,706	△187	223	27	△2,394	1	△2,393

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2020年11月11日開催の取締役会において、以下のとおり希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

1. 希望退職者の募集を行う理由

当社グループは、「2020中期経営計画」を策定し、①海外事業の構造改革、②製品力のさらなる強化、③素材から一貫生産ビジネスモデルの拡大を掲げ、収益の安定化および発展に努めておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大及びこれに起因した事業環境の悪化により今後も先行き不透明な状況にあります。従いまして、会社業績の早期改善に向け、希望退職者の募集を行うことを決定いたしました。

2. 希望退職者の募集の概要

募集対象者	当社（国内連結子会社への出向者含む）に勤務する40歳以上（2020年4月1日現在）かつ勤続年数3年以上の社員及び再雇用者 但し、生産現場勤務者は除く
募集人数	100名程度
募集期間	2021年1月5日（火）～1月22日（金）
退職日	2021年2月28日（日）
優遇措置	特別退職金の支給及び再就職支援サービスの提供

3. 希望退職による損失の見込額

希望退職者募集に伴い発生する特別退職金等の費用は約8億円を見込んでおり、2021年3月期において特別損失として計上する予定であります。

3. 補足情報(連結)

(金額単位=百万円)

1. 業績

	四半期累計期間				通期		
	前期	当期	前第2四半期比増減		前期実績	※当期予想	
	2019年4月-2019年9月	2020年4月-2020年9月	増減率(%)		2020年3月期	2021年3月期	増減率(%)
売上高	60,169	42,219	△17,949	△29.8	117,138	92,000	△21.5
営業損益	74	△2,393	△2,468	-	436	△6,600	-
経常損益	△404	△2,475	△2,070	-	△259	△6,900	-
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損益	△14,310	△2,398	11,911	-	△14,070	△6,200	-

※2020年11月11日公表

1株当たり四半期 (当期)純損益	△930.15	△155.91	△914.56	△403.00
---------------------	---------	---------	---------	---------

2. 四半期毎の業績推移

	前期 (2020年3月期)				当期 (2021年3月期)	
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)
	売上高	30,124	30,044	29,105	27,864	21,378
営業損益	46	27	331	30	△1,346	△1,046
経常損益	△100	△304	127	18	△2,132	△342
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△200	△14,109	△231	471	△1,998	△399

3. セグメント別売上高推移

	前期 (2020年3月期)				当期 (2021年3月期)	
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)
	特殊鋼鋼材	15,573	14,087	12,897	13,338	11,394
ばね	11,681	11,712	11,923	9,914	6,320	9,374
素形材	2,435	2,275	2,398	2,531	2,151	1,707
機器装置	1,766	2,832	2,558	3,086	2,297	2,144
その他	1,014	952	832	770	647	633
調整額	△2,347	△1,815	△1,505	△1,777	△1,433	△1,062
合計	30,124	30,044	29,105	27,864	21,378	20,840

4. 要約連結貸借対照表

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
	2020年3月末	2020年9月末			2020年3月末	2020年9月末	
流動資産	89,121	76,027	△13,093	負債	93,075	82,655	△10,420
現預金等	29,303	26,768	△2,534	営業負債	15,583	8,757	△6,825
営業債権	28,331	21,950	△6,380	有利子負債	55,134	52,439	△2,694
たな卸資産	29,222	25,542	△3,680	その他	22,357	21,457	△899
その他	2,263	1,766	△497				
固定資産	52,270	52,757	487	純資産	48,315	46,130	△2,185
有形固定資産	39,051	38,906	△144	株主資本	45,512	43,114	△2,398
無形固定資産	1,414	1,526	111	その他の 包括利益累計額	△2,905	△2,760	145
投資その他資産	11,803	12,323	520	非支配株主持分	5,708	5,775	67
資産合計	141,391	128,785	△12,606	負債純資産合計	141,391	128,785	△12,606